

森林やまがた

No.71

2003 2月

目

次

県内各地できのご消費拡大の取組み…2
やまがたの木の住まいづくり塾はいま…4
庄内地域森林計画の策定……………5
緑の少年団
自然の大切さ……………6
現地ルポ
「県民の森」のなかの“わんぱく子供広場”…7

普及情報
高地を利用した原木マイタケの早出技術…8
絆の森整備事業「八幡自然公園」…………9
山形の古木・名木……………10
公共木造施設……………10

(表紙写真はベチカ型木質ペレットストーブ)



地産地消の推進

県内各地できのこ消費拡大の取組み

安全・安心な食品への関心が
高まる中での、県内各地の県産
きのこ消費拡大・品質向上の取
組みを紹介します。

〇きのこ給食の実施

庄内総合支庁では、八月に立
川町と八幡町において学校給食
調理関係者等のきのこ料理研修
会を開催しました。

さらに、地元産きのこが出回
る秋に、立川町と八幡町の小・
中学校において、料理研修会で

研修したきのこ料理を活用した
きのこ給食を実施しました。

立川町では、十月から十一月
にかけて町内の三つの小学校と
一つの中学校の給食において、
シイタケ、ブナシメジ、エノキ
タケ等地元産のきのこを使った
献立を計八回実施しました。

栄養士さんから伺ったところ
によると、実際に食べた子供た
ちの反応は、「きのこを使った料
理はこんなに色々あるのに驚い
た」や「おいしい」など好印象
だったようで、残す子供も少な
かったようです。

今後はこれを生かして、給食
へのきのこの積極的利用を目指
し、食育と合わせた地産地消に
関する情報や新たな料理方法に
関する情報を提供し、さらなる
きのこの消費拡大へこの事業を
広げていきたいと思えます。

(庄内総合支庁森林整備課)

〇白布温泉できのこ料理を発表

置賜総合支庁では、十一月六
日に、米沢市の森林体験交流セ
ンター「森の館」できのこ料理



きのこ給食風景(立川町狩川小学校)



発表されたきのこ料理

八幡町では、十一月の三週目
をきのこ給食週間として、町内
の四つの小学校と一つの中学校
の給食において実施しました。
そこでの献立の主な内容は、き
のこごはん、きのこのスープス
パゲッティ、魚のきのこあんか
けなど研修会で紹介された様々
な料理をうまく組み合わせ、
地元産の旬のきのこを生かした
献立を提供しました。

発表会を開催しました。

三回目となる今年は、「秋のきのこコレクション in 白布温泉」と銘打ち、白布温泉組合の旅館五軒から計十二品のきのこ料理が発表されました。

発表された料理は、各旅館の調理担当者が創作したもので、置賜産や県産のきのこ八種類が食材として、使用されました。

会場では、調理担当者の説明を受けながら、郷土食文化研究者や地元調理師会、旅行誌編集者、旅行代理店、地元きのこ生産者などのアドバイザーの方々が試食を行い、きのこの持ち味を活かした推奨料理五品が選定されました。

アドバイザーの方からは、「地味な印象のきのこを味や見た目でもうまく引き立てている。料理のバリエーションの豊富さに驚いた。」との講評をいただきました。

た。

また、当日は、小野川温泉女将会も試食やアンケート調査に参加していただき、調理担当者とのこ料理談義に花を咲かせていました。



今後は、発表料理をレシピ集として発行し、きのこ料理の普及を図るとともに、推奨料理をベースとしたきのこ料理を各旅館や各種イベントなどで提供していくことを予定しています。(置賜総合支庁 森林整備課) **きのこ品評会の開催** 山形県きのこ振興会では、十一月二十五日、二十六日の両日

催しました。

この品評会は、

この品質及び栽培技術の向上と、生産意

欲の高揚を図るために、昭和六十二年度から開催されており、今回も生しいたけ、なめこなど、県内各地から七品目、七十三点が出品されました。出品されたきのこは、いずれ

にわたり、最上広域交流センター「ゆめりあ」において、第十六回山形県きのこ品評会を開催し、受賞者への表彰が行われま

第16回山形県きのこ品評会審査結果一覧表

賞	市町村	氏名	部門
最優秀	農林水産大臣賞	小国町 渡部茂雄	しいたけ(蕨)
	林野庁長官賞	最上町 板垣 隆	しいたけ(蕨)
	山形県知事賞	鮭川村 田中 豊	なめこ(ピ)
優	全国農業協同組合連合会山形県本部運営委員会会長賞	鮭川村 早坂義徳	ぶなしめじ
	全国農業協同組合連合会山形県庄内本部運営委員会会長賞	平田町 佐藤美智子	しいたけ(蕨)
	山形県森林組合連合会会長賞	最上町 庄司千賀夫	しいたけ(蕨)
	山形県中央青果株式会社社長賞	鮭川村 荒木美成	えのきたけ
秀	株式会社山果社長賞	小国町 佐藤利男	しいたけ(蕨)
	株式会社庄果社長賞	八幡町 相蘇俊次	しいたけ(蕨)
	丸果庄内青果株式会社社長賞	鶴岡市 阿部哲郎	えのきたけ
優	山形県さのこ振興会会長賞	白鷹町 安部好和	しいたけ(蕨)
	〃	小国町 佐野信次	しいたけ(蕨)
	〃	鮭川村 栗田啓一	なめこ(ピ)
	〃	〃 井上幸一	〃
	〃	新庄市 高橋久太郎	なめこ(袋)
	〃	〃 高橋和幸	〃
	〃	〃 井上市作	ひらたけ(ピ)
	〃	〃 伊藤嘉彦	ひらたけ(出羽形)
良	〃	鮭川村 荒木正人	まいたけ
	〃	新庄市 中川新一	エリンギ

審査の翌日に行われた展示会及び即売会には、たくさんの方が訪れ、特に即売会では、県産の優秀なきのこがまたたく間に完売しました。

〔県森林課〕



やまがた木の住まいづくり塾はいま

問合わせ先 木づくりの家やまがたネットワーク事務局
山形市表蔵王60-1 (Tel. 023-688-2200)

有意義な勉強会になり今後の展開が楽しみです。この塾開催の目的は、健康的で安全に暮らせる住まい造りをネットワークの会員である、設計、施工、木材の三業種のプロとひざを交え、三年間本音で語り合い学びあい三年目に住宅を完成させようと、スローライフを楽しみながら実施しようというものです。勿論身近にある県産材をふんだんに使用して。

* 森林環境の破壊者は誰？
など基本的な勉強会です。

二年目は行動のシリーズとして建築の準備期間

* 設計者、施工者、木材業者の選定。

* 一年かけ建築の設計図面作成
(春夏秋冬の経過検討)

* 使用木材の県内山林を決定し
伐採、葉付き乾燥の実施。

* 製材製品の半年間自然乾燥
* 見積書作成、契約し建築工事
着工準備。

* 森の恵みの現地体験と森林保全の心構えの養成。

などの建築工事開始準備期間。
三年目はよろこびのシリーズ

として着工から完成までの期間。
* 木材の木取り、加工。

* 雪解け待ち基礎工事着手。
* 五月、上棟、屋根葺き完了。

* 自然乾燥期間、六ヶ月間。
* 十一月から造作工事着手。

* 翌年四月完成。

* 完成後、森の恵みの現地体験
と伐採林地への植樹、保育作業の実施。

以上、三シリーズにじっくり腰を据えて三年かけて、所期の目的である建築主の理想とした住宅造りに少しでもお役に立てればとの思いで塾を開催していきます。また、この塾で学び住宅を建築した人たちは、出来る限り伐採された森林に植樹し、保育し、山の恵みに感謝しつつ、環境保全のお役に立てるよう森の応援団としてのボランティアを誓い合っています。

この塾は建築予定のない方も大歓迎で学びのシリーズの講座を開放しております。工事契約、結露、断熱、シックハウス等々建築に関するさまざまな疑問、質問をお持ちの上、気軽に私達と一緒に勉強してみませんか。

平成十四年十一月十七日(日)

第一回の塾が山形城南木材市場会議室で開催されました。当日は、意欲にあふれた塾生四名とネットワーク会員八名が参加し、時間も忘れて熱心に議論、主催者として逆に塾生から教えられることも多く、一回目から大変

一年目は学びのシリーズとして年六回の講座開催予定です。

* なぜ、今、木造住宅なのか。

* 在来工法とプレハブ工法

* ハウスメーカーと地元工務店

* 高気密、高断熱どっち？

* 県内林業者の声を聞く。

* 森の恵みの現地体験。

庄内地域森林計画の策定

持続可能な森林経営の推進

表-1 森林の整備目標

単位 面積 : ha

区 分		現 況	計 画 期 末
面 積	育成単層林	36,740	36,686
	育成復層林	162	542
	天然性林	25,306	25,046
森林蓄積 m ³ /ha		236	290
林道整備率 %		64 (林道密度 7.9m/ha)	74 (林道密度 9.1m/ha)

注) 林道整備率は、平成46年度末における庄内森林計画区内の林道整備目標837kmに対する整備比率である。

このたび庄内地域森林計画を策定しました。通常は十年間の計画になりますが現行の全国森林計画の終期が平成二十三年度末であり、これに即した計画期間となっています。

関係十二市町村の意見を聴き、山形県森林審議会の答申及び農林水産大臣との協議を経て、このほど公表しましたが、その概要を紹介します。

一、計画区内の森林の現況

庄内森林計画区内の民有林面積は六八、一三二haで県内民有林面積の二十二%となっています。計画区内の人工林率は五十四%で県平均の三十九%を大きく上回っているものの、人工林における十齡級以下の森林は七十六%を占め、災害防備や木材資源の充実を図るため積極的な保育及び間伐が必要です。林業の生産基盤となる林道の密度は七・九%で県平均(六・〇%)

より高いが整備水準はまだ十分な状況です。

二、計画の内容等

伐採量、造林面積等の計画内容は「全国森林計画」に即しており、森林の多面的な機能に対する期待や、森林の保全と利用の両立を目指す「持続可能な森林経営」の推進、さらには地球温暖化問題を踏まえた「二酸化炭素吸収源」としての森林の適正な整備とこれを支える林業の健全な発展を目指しています。これにより、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等についての目標及び計画数量を次のとおりとします。

〔県森林課〕

表-2 計画の内容

伐採立木材積 (千m ³)						造 林 (ha)						
総 数			主 伐			間 伐			人 工 造 林			
総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	拡大造林	再造林	樹下植栽
856	666	190	676	486	190	180	180	—	1,158	258	546	354

造 林 (ha)	林 道 (km)				保 安 林 (ha)				保 安 施 設		
	開 設		拡 張		指 定				解 除	保安林の整備(ha)	保全施設(箇所)
天然更新	路線数	延長	路線数	延長	総 数	水源かん養	災害防備	保健風致			
254	43	87	69	95	902	50	790	62	3	862	34

注) 保安林指定の「災害防備」は土砂流出防備、干害防備、なだれ防止等の保安林であり、「保健風致」は魚つき、保健等の保安林である。

活動報告



緑の少年団

大江町緑の少年団
大江町立左沢小学校 6年

小松美鈴

私たち大江町緑の少年団は、今まで色々な活動をしてきました。森の中で聞いた、森の音楽

会。手作りイス

に座り、大自然

の中で音楽を聞

きました。木は、

私たちが出した

二酸化炭素をと

り入れて、酸素

を作ってくれま

す。だから自然

はとても大切な

んだとわかりま

した。

また今年は、

全国植樹祭が行

われ、代表の団

員が参加しまし

た。そこでは、

県内の人達といっしょに、植樹

を行いました。

さらに、どんぐりを植えて、

緑を増やそう。というのをやっ

ている人達、二人の人の、話を

お聞きしました。私はその話を

聞いて、すばらしい活動だな、

と思いました。話をお聞きした

後、どんぐりを植えました。春

には、立派な芽を出してほしい

です。あと月山でのネイチャー

センターで火おこしをしたり、

自分で準備した野菜や肉でバ

ーベキューをしたりもしました。

あと、チームごとに森の中を

ウォーキングしました。夏だと

いうのに森の中は、すずしくて、

ちようどいい温度でした。月山

の、わき水のみました。冷た

くて、すごくおいしかったです。

他の学校の友達もできて、楽し

かったです。

ほかには、各小学校の代表の

人達で森林を歩きながら、キノ

コや葉っぱなどを調べながら歩

きました。山や森林にくだしい

おじさんといっしょにやり

ました。たまに、見たこと

のないキノコもあり、おじ

さんに聞いたりして、この

キノコは食べられないもの

だとか、色々、知りました。

そして、木の手作りのはし

を作りました。お昼は、自

分で作ったはしで食べまし

た。木で作ったはしは、木

のおいがして、お弁当が

とてもおいしかったです。

次に、ドジョウの養殖場

に行きました。ここでは、

まだ小さいドジョウを育て

ていました。そこでは、ド

ジョウのことを、色々、質問し

たりして、よくわかりました。

これらの活動は、私に、自然

がいかに大切かを教えてくれま

した。自然に親しみ、自然への

関心を深めるきっかけとなりま

した。



今、世界でも森林が減るなど

緑がなくなってきました。私

達の身近な存在である森林を大

切にしていきたいです。私達も

緑を増やすために、がんばって

いきたいです。

「県民の森」のなかの「わんぱく子供広場」

森に親しみ森に学ぶ



1 自分のことは自分でします。

2 自分から進んで作業をします。

3 友だちと力を合わせて作業をします。

4 友だちに「ダメ」は言いません。

5 ケガの責任は自分で持ちます。この5つを「みんなの約束」として、毎回、開会の冒頭に朗読しながら今年度5回の「わんぱく子供広場」を開催しました。

この事業は、村山総合支庁の戦略プロジェクトの一環として取り組んだものであり、小学校の週5日制の施行に伴い、生ずるであろう「ゆとり」の時間を

利用して森林（もり）に入り、新鮮な空気を胸一杯吸いながら思う存分身体を動かして遊び、その中から森林のすばらしさやこわさを習得し、併せて森林に対する関心を持って欲しいものとの狙いで実施したものです。

初めての取組みであり今年度は東南村山地域の4年生から6年生を対象に公募しましたが、5市町から4年生を主に26名の応募がありました。7月から11月にかけ延べ5回開催しましたが、その主な内容は、別表の通りです。2班に分かれて活動拠点として「隠れ家」を作った一方、

現地ルポ

器による「縄文火起こし」など普

開催内容

回	開催日	主な内容
第1回目	平成14年7月27日 (第4土曜日)	①「みんなの約束」を決定 ②会の名前を決定し、看板、団旗を作成 ③班分け後、班ごとに今後の活動について話し合う ④ネームプレート作成後、木登りとブランコ遊び
第2回目	平成14年8月10日 (第2土曜日)	①班別に「隠れ家」づくり ②班別に1本づつスギ間伐材の樹高と直径を測し、伐倒後計測 ③チェーンソーによるスギのトーチ作りを見た後、自由にターザンロープ遊び
第3回目	平成14年9月14日 (第2土曜日)	①1班の「隠れ家」作り ②クックミ割りを体験後、たっぷり入れた「クッキー」作り ③自由にターザンロープ遊び後、薪割りを体験
第4回目	平成14年10月12日 (第2土曜日)	①桜チップを使った鱈の燻製作りと試食 ②東黒森山登山
第5回目	平成14年11月9日 (第2土曜日)	①火起こしと焼き芋作り ②木工クラフト「森の昆虫」作り ③感想文のまとめ

かななかったが楽しかった、みんなで作ったクッキーはおいしかった等々関心を示した活動はまちまちですが、参加してよかった、また参加したいなどの感想が寄せられています。「隠れ家」作りなど一緒に作業をすることにより友だちができたなどの報告もあり「みんなの約束」に沿った活動ができたものと考

えていきます。この取組みは、みどり推進機構をはじめ、

子供たちの感触は概ね良好で、ターザンロープはスリルがあった、薪割りは初めてでうまくい

め県民の森の「森の案内人」の全面的な協力のもとに実施できたものです。

〔村山総合支庁森林整備課〕



普及情報

高地を利用した原木マイタケの早出し技術

(県森林課 林業技術専門員)

はじめに

マイタケは、樹齢百年余のミズナラやクリなどの根際や切り株などに発生する香り、歯ごたえが良い大変おいしいきのこです。現在、菌床栽培と原木栽培があります。

原木栽培は、栄養添加物を加える菌床栽培のものと比較して、①天然に近いきのこが収穫できること、②一度伏せ込むと三年から四年間きのこを収穫できること等の利点があります。

しかし、きのこが九月下旬から十月上旬に集中して発生するため、山形県森林研究研修センターでは、発生環境を調整し、市場での価格が高い九月上旬に収穫できる「早出し技術」について研究してきました。

研究内容・成果

九月上旬にマイタケを収穫できるように、八月にマイタケ発

高地を利用した原木マイタケ（コンテナ栽培）の早出し

調査値	コンテナ埋設後の管理			供試 コンテナ数	収穫コンテナ数（個）					生重量 平均 g/m ²	1個当たり 生重量g (最小～最大)
	調査地移動まで		移動後		9月			10月			
	5月上旬以降	6月中旬以降			8月上旬	上旬	中旬	下旬	上旬		
姥沢	ビニールハウス	寒冷紗	寒冷紗	5	3	2	—	—	—	64,580	240(86～765)
姥沢	寒冷紗	寒冷紗	寒冷紗	5	2	2	1(1)	—	—	81,321	255(53～1003)
長岡山	ビニールハウス	寒冷紗	寒冷紗	5	—	—	—	5	(1)	63,356	383(79～639)
長岡山	寒冷紗	寒冷紗	寒冷紗	5	—	—	—	2	3	45,932	161(8～613)

※得られる標高の高い所に、培養

生適温度（十八から二十℃）が※

注) 表の数値は発生初年度の結果です。問い合わせ先：森林研究研修センター特用林産部 TEL. 0237-84-4301

済みほだ木を伏せ込んだコンテナを移動して調査を行いました。今回選んだ場所は、西川町姥沢の標高一一五〇mの高地です。また、対照区は、寒河江市長岡山（山形県森林研究研修センター標高一四五m）を設定しました。ほだ木には、マイタケ菌を接種後、約一年間培養したものを使用しました。

この結果、西川町姥沢では、寒河江市長岡山より一ヶ月ほど早い九月上旬にマイタケを収穫することができました。

おわりに

九月上旬に収穫できるマイタケは、通常より一キログラムあたり千円ほど高い二千円の高値で取引されるようです。

今後、マイタケの早だし技術を生産者へ普及するため、各地域における現地実証試験を行うていく必要があります。

絆の森整備事業

くくつろぎの八幡町の里山 「八森自然公園」



▲グランドゴルフ場



八幡温泉「ゆりんこ」

山形県の北西に位置する八幡町は、鳥海山の南麓に広がる森林面積が総面積の八割を超える自然の豊かな町です。今回紹介する

「八森自然公園」は、町の南西部に位置し、自然と気軽にふれあうことのできる住民の憩いの場所です。公園からは鳥海山が一望でき、周辺には家族連れで賑わう舞鶴公園や町内外から多くの客で賑わう八森温泉「ゆりんこ」や湧き水がおいしい湯ノ沢温泉などが隣接しており、八森地区一帯は老若男女を問わず楽しむこ

とのできる空間となっています。八森自然公園は、ウォーキングコースとしても親しまれ、春にはカタクリの花が咲き、野鳥が多く生息し、バードウォッチングや自然観察会などが行われています。秋には、町の花であるヤマユリが咲きほこり、訪れる人の心を和ませてくれます。八森自然公園の施設は、昭和五十三年から整備が始まり、新林業構造改善事業などを導入して野球場、テニスコート、グラウンドゴルフ場、ゴルフ練習場、サッカー場などのスポーツ施設をはじめ、バンガローや炊事施設のあるキャンプ場、植物園や森林の修景等々多様な施設が整備されてきましたが、なおそのすべてが森林に囲まれています。このような中、平成十四年度

には絆の森整備事業を活用し、これまで手入れの少なかった森林の間伐や下刈りを行うとともに作業路（全幅3m・延長七・五m）、バーク材と間伐材の丸太階段を使用した遊歩道（幅員一・二m、延長一八四m）、四阿一棟、案内看板六基を整備し、これまでに以上に森林へふれていただく空間を創出しました。森林保育については、曲木を中心とした未利用間伐を実施するとともに、公園内であるため、道路周辺の森林の下刈りを行い、人工林の美しさを出せるように整備しました。今後は、これらの施設を活用しながら、さらに自然とふれあえる公園となるように体制整備ができればと考えております。みなさんも是非、遊びに来てください。（八幡町役場農林課）



大石田町大字大浦字ワラロ地内の県道三十号線沿いの西へ数メートルはいった土堤際にあり、主幹全体わずかに東へ傾いている。根元の囲り六、二〇メートル、目通りの幹囲五、九〇メートル、高さおよそ二十二メートル、枝張りには各方向とも約十メートルある。平場にあるコナラでは県下随一の巨木である。昭和五十六年二月二十五日町指定天然記念物に指定されている。
〔県みどり推進機構〕



(案内略図)



公共木造施設 ①

白鷹町立

さくらの里文化伝承館

白鷹町大字横田尻

完成年度 平成12年度

床面積 538.92㎡

構造 木造平屋建

問合せ 特

徴

蚕桑地区の桜の里づくりの拠点施設として重用されている。
白鷹町教育委員会



信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります
いろいろな森林体験ができます

財団法人山形県林業公社

山形県鉄砲町二丁目19番68号
TEL 023-623-3505



——全国食用きのこ種菌協会会員——
〒999-7757
山形県東田川郡余目町払田字村東17-2



株式会社
河村式種菌研究所

お問い合わせは：電 話 0234(42)1122(代)
F A X 0234(42)1124

トンビマイタケ菌床 庭先でも栽培
好評予約受付中！ できます。



地球温暖化防止に貢献する「県産材」の利用

木材を利用すると

(貯蔵効果)

木でつくった家や家具などを長い間使うことで、炭素を長時間貯蔵できます。

(省エネ効果)

製造時のエネルギーが少ない木質系原料を使用することによって、CO₂排出を削減できます。

(エネルギー代替効果)

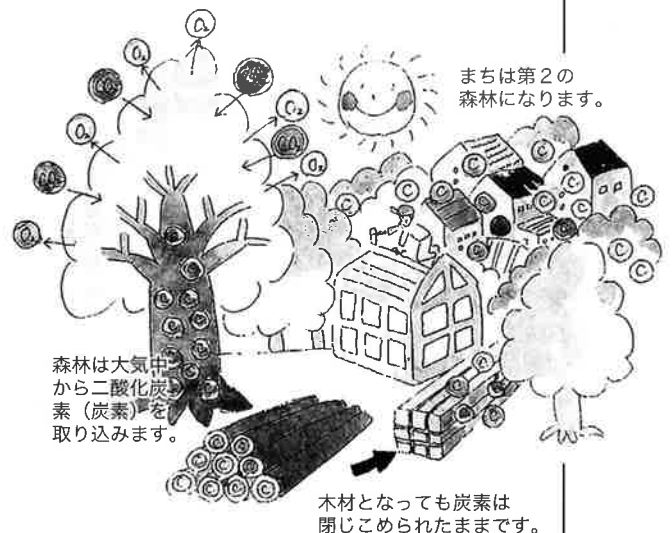
化石燃料を使用する代わりに木材を使用することにより、化石燃料中の炭素を貯蔵したままにできます。

一戸当たりの炭素貯蔵量と材料製造時の炭素放出量



資料：岡崎ら、1998 他

木の家は第2の森林



提供：最上村山流域林業活性化センター
TEL. 023-631-6566 FAX. 023-631-6573



まるごと鮭川
(山形県きのこ料理発表会・推奨料理)

寒い冬はあったか「きのこ料理」

きのこは低カロリーで栄養豊富な健康食品です。

きのこパワーで健康生活！ “毎日食べよう山形きのこ”

山形県きのこ振興会

〒990-8570 山形市松波2-8-1 ☎023-630-2542

街に緑を 窓辺に花を

確定利回りの1年貯蓄

どなたでもお気軽に

半年複利の5年貯蓄



農林中央金庫 山形事務所



〒990-0042 山形市七日町3-1-11
☎(023)641-6271



山形県緑化事業協同組合連合会



会長 齋藤 博
専務理事 富田 昌弘

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-632-5148
FAX 023-641-9288

印刷所

渡辺活版所

定価 一部二一〇円

森林やまがた2月号 平成15年2月1日発行 通巻第71号

監修 山形県
編集・発行 山形県森林協会
〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-631-6566 023-622-8823
FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>

古紙配合率100%再生紙を使用しています